

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《社会人》	2026年度 春季
専門に関わる 小論文		

《日本史分野》

《解答又は解答例》

- 1 論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはしない。受験者が、環濠集落の系譜と伝播、機能、その後の分布の拡大、消滅といった基礎的な内容について十分に解説するとともに、弥生時代社会におけるその意義について適切にまとめることを期待する。
- 2 論文形式の設題であるため具体的な解答例を示すことはできません。いずれも同時代史料であるため、残存史料の少ない日本古代史研究においては、第一級のものであること。ただし正倉院文書中の私信類の留意点としては、公文書ではないため、当事者にとって自明であることは記述が簡略化されており、第三者がそれを史料として利用するためには、関連史料を博捜し総体的に理解することが求められること、紙背文書であることが多いので表裏関係についても留意して利用することが求められることなどを論述することが期待されている。一方、木簡については、出土品であることから、まず考古資料としての特性を十分理解した上で利用することが求められ、また断片的であることから、史料として利用するためには、やはり関連史料の博捜が求められることなどを論述することが期待されている。
- 3 論述形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①日本中世の身分制に関する基礎的な理解を示すこと、②課題文に対する正確な理解を示すこと、③自らの考えを適切に示すこと、の3点を意識して論述してください。
- 4 論述形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①日本近世の身分制に関する基礎的な理解を示すこと、②課題文に対する正確な理解を示すこと、③自らの考えを適切に示すこと、の3点を意識して論述してください。
- 5 論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはしない。テーマとする近代の女子教育の発達について、学制の公布、女学校の設立、教育内容など、さまざまな事例をとりあげ、さらにこれらを組み合わせることで、論理的な議論が展開されていることが望まれる。

《出題の意図》

- 1 日本考古学上の重要事項に関する基本的な知識と理解があるかどうか問うものである。
- 2 日本史学（日本古代史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 3 日本史学（日本中世史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 4 日本史学（日本近世史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 5 近代・現代の歴史に関する基本的な知識を有し、論理的な説明できるかを問うものである。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《社会人》	2026年度 春季
専門に関わる 小論文		

《東洋史分野》

1

《解答又は解答例》

唐初の辺境防備は、鎮・戍と呼ばれる小規模な部隊を多数配置するものであったが、周辺異民族の成長とともに対応に困難を来すようになり、軍鎮と呼ばれる大規模な部隊を要地に常駐させる体制に切り替えられていった。これを一定地域ごとに統轄するものが藩鎮であり、その指揮官として節度使が設けられ、高宗の時代から玄宗の時代にかけて、辺境付近に十の節度使が置かれることになった。玄宗の末年に至り、三つの節度使を兼ねた安祿山により安史の乱が発生した。この反乱に対応するなかで、藩鎮は内地にも置かれるようになっていったが、兵権に加えて民政権・財政権も掌握するようになり、軍閥化していった。藩鎮は強大な軍事力を持ち、唐朝に反抗することも多く、とりわけ安史の乱の降将となった河北の三つの藩鎮は、独自に官吏を任命し、税を中央に送らないなど、独立王国化していた。憲宗の時代になり、節度使に文官や中央の禁軍出身者を当てるなどして藩鎮の弱体化に成功していくが、唐末になると黄巢の乱などの平定を経て藩鎮は強大な力をもつようになり、黄巢の乱の降将であり、節度使であった朱全忠により唐朝は滅ぶこととなった。

《出題の意図》

唐代の藩鎮について、制度的内実およびその変遷、歴史的背景、研究史を問うことで、中国古代史の基本的な知見の有無を確認する。

2

《解答又は解答例》

楽浪郡は前漢の武帝が衛氏朝鮮を滅ぼしたのちに遼東より朝鮮半島にかけて設置した四つの郡のひとつであり、漢王朝の崩壊後も存続し続けた。楽浪郡の遺跡は現在の北朝鮮の首都である平壤の郊外にある。その遺跡の発掘は二〇世紀初頭、関野貞などが中心となって行ったが、未だ考古学調査や整理方法が確立していない時期の調査であり、考古学の専門家として京都帝大から浜田耕作の門下であった小泉頭夫が参加した以外、芸術家や建築家が調査に参加していた。この楽浪の遺跡からは、青銅器などの遺物のほか、特記すべきものとして多くの漆器資料が出土した。それら漆器は前後漢とその間にある王莽の新しいころのもので、中国古代漆器の研究には不可避の資料といえる。しかし、朝鮮併合の時期にあたる資料であることから、これまで封印されてきた。昨今、中国各地で漢代から三国にかけての漆器資料の発掘が顕著になったことから、その比較資料として視点が向きつつあるといえる。上記のごとく、楽浪調査には東京芸大から六角紫水や小場恒吉といった漆芸・文様の専門家が参加していたことから、その図面などは精緻を極めたものであり、加えて当時最先端技術としての写真が残されている。したがって、百年前の学術調査の水準は現在の研究にも活用可能であるといえる。現在、楽浪出土漆器の所在については諸事情により明らかにされない部分も多いが、東洋文庫に

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《社会人》	2026年度 春季
専門に関わる 小論文		

所蔵される梅原末治考古資料や六角・小場画像資料により、かなりの資料が研究に活用できると考えられる。中国古代漆器研究はまだ始まったばかりであり、その研究に益する注視すべき資料である。

《出題の意図》

楽浪漆器研究の回顧と展望への理解の深度をはかり、物質資料研究に求められる素養の有無を確認する。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《社会人》	2026年度 春季
専門に関わる 小論文		

《西洋史分野》

《解答又は解答例》

- 1 スパルタの国家体制は、リュクルゴスなる人物がこれを制定したとする伝承に基づき「リュクルゴス体制」と呼ばれる。制度的特徴の一つは、市民の最高意思決定機関として民会が存在する一方で、軍事指揮権と祭祀の管轄権を有する二人の世襲の王が存在するとともに、王と王を支える有力者たちが長老会と称される諮問機関を形成して国家運営を主導する、混合政体のしくみが採用されたことである。さらにスパルタでは、市民同士の平等が原則とされた反面、スパルタにより征服された人々はヘイロタイの身分に落とされ、隷属農民として貢納を義務づけられた。少数の市民により多数のヘイロタイを支配する必要から、市民生活は軍事を最優先するかたちで統制された。誕生の時点で行われる身体検査を通過した者だけが養育の対象となり、わけても男子の場合は、幼少期から集団生活の中で厳しい軍事訓練に専念し、成人後も仲間同士で毎晩共同の食事を営むことで、団結の強い市民団を形成することが図られた。また、国外から物資や人が流入することにより市民団の団結が弱まることを避けるべく、対外関係においては鎖国に近い政策がとられた点も特徴的である。
- 2 （論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはできません。「一七世紀の危機」の背景にある人口過多、寒冷化、技術的停滞、銀インフレ、宗教対立などについて言及した上、宗教戦争や疫病による人口減少と政治の専制化を招き、一八世紀前半まで経済的・社会的に停滞したのに対し、大西洋沿岸部では商業革命や宗教的寛容によって危機をいち早く克服し、一八世紀の経済的繁栄と市民社会の発展を準備した点を具体的に論じることが期待されます。）
- 3 （論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはできません。奴隷制と奴隷貿易、奴隷制廃止後のインド人移民、イギリス本国から植民地に渡った白人移民などを取り上げ、多様な移民活動がイギリス帝国の形成にどうかかわったかを具体的に論じることが期待されます。）

《出題の意図》

- 1 古代ヨーロッパ史にかんする基本事項について、基礎的な知識があるかどうかを問う問題である。
- 2 初期近代ヨーロッパ史にかんする基本事項について、基礎的な知識があるかどうかを問う問題である。
- 3 イギリスおよびイギリス帝国の歴史にかんする基本事項について、基礎的な知識があるかどうかを問う問題である。